

明治八年  
大阪  
錦雷  
新聞  
第十九号

盗木  
みまげ

やもく是ハ東京まで去年のこの  
事やじが女心の浅州馬道猿智  
恵なくむ猿寺地内。二入り下  
寡婦と下女。女主人ハ下女前  
主とさせて。他所を歸りて家と  
見まへ。燈火消して。下女ハ  
柱小まをまて。簞笥ハあけて。見物も  
取らして有ゆ。やがて女主人ハ繩と解き  
委細と問へ。カ下女ハ。盗賊遣入て。震ひを。語らば。女主人ハ。毒の思ひ居る内  
程もあ。カ盗賊ハ。一。聞よりす。カ下女。井戸へ身を投死し。あ。聞  
け。盗賊と。合組せ。一。下女の。正情堂九化記  
身を投し。井戸のもの。下女の。あ己文板



あ己文板

50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90

